

2. 人文・文化学群

(1) 学群コア・カリキュラム

人文・文化学群学群コアカリキュラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AA11071	人文・文化学群生のためのキャリアデザイン	1	1.5	1・2	春ABC	金6	共同利用棟 A101	池田 潤	大学生活をどう過ごすかは、将来に大きな影響を与えます。この授業では、CAR10のワークシートを使ったふりかえりやグループディスカッション等を通して「自分を知る」「大学を知る」「社会を知る」をテーマに、「生き方」「働き方」「大学生活の過ごし方」について自分自身で考え、行動するきっかけをつくります。	人文・文化学群コアカリキュラム GDP
AB60111	哲学通論a	1	1.5	1・2	春ABC	木2	1C310	檀垣 良成	サンデルの白熱教室も参考にしながら、哲学の基本問題を考える(他専攻歓迎)。	★人文・文化学群コアカリキュラムとして履修できるのは比較文化、日本語・日本文化学類生のみ。人文学類生は専門基礎科目にできない。
AB60221	倫理学通論b	1	1.5	1・2	秋ABC	火3	1H201	千葉 建	引き続き倫理学の基本的概念と方法について考察する。	★人文・文化学群コアカリキュラム 比較文化学類生、日本語・日本文化学類生に限る。人文学類生は専門基礎科目。
AB60311	宗教学通論a	1	1.5	1・2	春ABC	月3	1H201	保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	★人文・文化学群コアカリキュラム 比較文化学類生、日本語・日本文化学類生に限る。人文学類生は専門基礎科目。
AB70211	東洋史概説a	1	1.5	1・2	春ABC	月6	1C310	上田 裕之	古代から15世紀にかけての東部ユーラシア帝国史を概観し、一般的な「中国史」像の相対化を図る。	★人文・文化学群コアカリキュラム 比較文化学類生、日本語・日本文化学類生に限る。人文学類生は専門基礎科目。
AB70321	オリエント史概説b	1	1.5	1・2	秋ABC	木4	1H201	山田 重郎	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前二千年紀後半から一千年紀の古代オリエント史を講義する。	★人文・文化学群コアカリキュラム 比較文化学類生、日本語・日本文化学類生に限る。人文学類生は専門基礎科目。
AB80221	考古学概説b	1	1.5	1・2	秋ABC	火3	共同利用棟 A201	常木 晃	考古学とはどのような学問か。人類の始まりから現代までを扱う考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題に言及しつつ概説する。特に、考古学によって人類の歴史の重要なエポックを語っていく。	★人文・文化学群コアカリキュラム 比較文化学類生、日本語・日本文化学類生に限る。人文学類生は専門基礎科目。
AB80311	民俗学概説a	1	1.5	1・2	春ABC	木4	1B208	中野 泰	日本の民俗学の誕生と、20世紀における展開について、柳田国男、桜田勝徳等の研究者を取り上げ、その思想と方法に焦点を当てて概説し、民俗学的思考法の課題と可能性を考察する。	★人文・文化学群コアカリキュラム 比較文化学類生、日本語・日本文化学類生に限る。人文学類生は専門基礎科目。G科目
AB90111	言語学概論a	1	1.5	1	春ABC	木4	1B308	池田 潤	言語とは何かについてともに考え、言語学がどんな学問なのかを論じあう。	★人文・文化学群コアカリキュラム 比較文化学類生、日本語・日本文化学類生に限る。人文学類生は専門基礎科目。
AB90221	応用言語学概論b	1	1.5	1・2	秋ABC	火3	共同利用棟 A102	磐崎 弘貞, 久保田 章, 卯城 祐司, 平井 明代, 小野 雄一, 田川 拓海	春学期に引き続き、応用言語学全般にわたり概説する。	★人文・文化学群コアカリキュラム 比較文化学類生、日本語・日本文化学類生に限る。人文学類生は専門基礎科目。
AB90521	英語学概論b	1	1.5	1	秋ABC	火3	1B208	加賀 信広	英語という言語の内奥にメスを入れるとどのような姿が見えてくるか。英語学の基礎的な知識と考え方を学ぶとともに、特に、形式が語順などの統語面や形態などの語彙面にどのように反映されるかについて考える。	★人文・文化学群コアカリキュラム 比較文化学類生、日本語・日本文化学類生に限る。人文学類生は専門基礎科目。履修制限を設けることがある。
AC50001	日本文学概論	1	1.5	1・2	春ABC	火6	2B412	馬場 美佳	日本近現代文学の特徴とその研究のための入門的な専門知識について概説する。	★人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC10321と同一。G科目 日本文学概論A(AC10071)の単位取得者は履修できない。
AC50061	日本研究概論II	1	1.5	1・2	秋ABC	木2	2C310	山澤 学	日本研究に関する基礎的な知識と研究方法について、参考文献や地域資料の講読を通じて、文化史・社会史の視点から考察する。	★人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC20241と同一。G科目 日本研究概論B(AC20061)の単位取得者は履修できない。
AC50311	ヨーロッパ文学・文化概論	1	1.5	1・2	春ABC	火6	2B206	武井 隆道	英米・ヨーロッパの文学や文化についての概説	★人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AC20281と同一。ヨーロッパ研究概論A(AC20091)ないしヨーロッパ研究概論B(AC20101)の単位取得者は履修できない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AC50551	文化地理学概論	1	1.5	1・2	春ABC	火3	2B508	森本 健弘	文化地理学とは何かについて、およびその基礎概念である文化地域、文化生態、文化景観等について、具体的な事例を交えつつ講義する。	★人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)AC20221と同一。文化地理学概論A(AC20031)ないし文化地理学概論B(AC20041)の単位取得者は履修できない。
AC50601	テキスト文化学概論	1	1.5	1・2	秋ABC	月6	2B507	青柳 悦子	テキスト文化について学ぶ基礎として、さまざまな文学理論・文化批評理論を概観し、広い問題意識を養う。	★人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)AC10301と同一。総合文学概論IA(AC10011)ないし総合文学概論IB(AC10021)の単位取得者は履修できない。
AC50651	文化創造論概論	1	1.5	1・2	春ABC	月6	2B412	小川 美登里, 江藤 光紀, 佐藤 吉幸, 馬籠 清子, 吉野 修	現代芸術・音楽・映画・写真などの文化創造を深く理解するための方法・理論と、文化創造の土台となる社会現象や思想を学び、社会における文化創造の意義を考える。	★人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)AC10311と同一。
AC50701	先端文化学概論I	1	1.5	1・2	春ABC	火6	2B208	濱田 真	文化についてどのような観点から論じることができるか。主として近代から現代にかけてのドイツのさまざまな文化事象や文化理論を取り上げながら、文化学の多様なあり方について考察する。	★人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)AC30241と同一。比較文化概論A(AC30101)の単位取得者は履修できない。
AC50801	現代思想概論I	1	1.5	1・2	春ABC	金2	2B507	橋本 康二, 井川 義次, 鬼界 彰夫, 五十嵐 沙千子, 巖 錫仁	思想史という観点から現代思想を概観する。英語圏、ドイツ語圏、東洋の三地域の現代思想史を、それぞれ専門とする教員が概説する。	★人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)AC30201と同一。現代思想の基本問題B(AC30021)の単位取得者は履修できない。
AC50861	比較宗教概論II	1	1.5	1・2	秋ABC	木2	2B508	木村 武史	宗教の多様性と宗教研究の多様な研究方法について学ぶ。特に宗教的象徴世界、宗教経験、儀礼実践、神話的世界などの側面に焦点を当てる。エリアーデ、マリノフスキー、フロイトなどの古典的な研究を取り上げるとともに、最新の研究動向も交えて、人間と宗教とのかかわりを取り上げる。	★人文・文化学群コアカリキュラム(比較文化学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)AC30231と同一。現代人の宗教B(AC30051)の単位取得者は履修できない。
AE52A11	現代日本語概論	1	1.5	1	春ABC	木4	2C404	沼田 善子	現代日本語について、音韻、語彙、文法、及び世界の言語の中での位置について、他言語との異同、日本語教育との関わりを視野に入れて講義する。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。日本語・日本文化学類生は専門基礎科目。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE52A21	言語学概論	1	1.5	1	秋ABC	水1	2G407	竹沢 幸一	人間言語の特徴とはどのようなものなのかという問題を念頭に置きながら、科学的言語研究のための歴史的背景、方法論、具体的分析方法などについて学ぶ。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。日本語・日本文化学類生は専門基礎科目。
AE52A31	日本語教育概論	1	1.5	1	春ABC	金4	2G407	一二三 朋子	外国人への日本語教育についてコースデザインを中心に講義する。また授業の作成や、日本語教育の中で扱われる文法についても考える。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。日本語・日本文化学類生は専門基礎科目。
AE53A21	日本の文学概論	1	1.5	1	春ABC	火3	2B208	清登 典子	日本の古典詩歌(和歌・連歌・俳諧)について、「共同性」の視点から取り上げ、その特質につき検討する。また、俳句、連句の実作体験を通じて共同制作の詩について理解を深めることを目指す。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。日本語・日本文化学類生は専門基礎科目。
AE53A31	文化基礎論	1	1.5	1	春ABC	火2	2B309	中込 睦子	「生活世界をとらえる視点とその方法」をテーマとして、民俗学・文化人類学の基礎的方法論をまなぶ。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。日本語・日本文化学類生は専門基礎科目。日本語・日本文化学類生を優先する。【受入上限数70名】
AE53A41	国際教育概論	1	1.5	1・2						★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。日本語・日本文化学類生は専門基礎科目。2017年度開講せず。
AE53A51	異文化間教育概論	1	1.5	1・2	春ABC	木1	2G407	嶺井 明子	異文化間に生じる教育問題について、外国籍の子どもや国際結婚の子どもたち、LGBT(性的マイノリティ)、「障害」をもつ子ども・インクルーシブな教育などを事例として、グループディスカッション等の活動を取り入れながら、共生社会の構築の観点から考察します。	★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。日本語・日本文化学類生は専門基礎科目。

(2) 学群グローバル科目群

人文・文化学群グローバル科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AA21623	大連プレ・インターンシップ国際研修	3	3.0	2	秋ABC	応談		田川 拓海, 橋本 修	国際社会で活躍できる人材育成のためには、異文化に目を向け、実際に接することが必要である。大連は日系企業が多く、また日本語教育も盛んである。そこで、大連大学及び大連市内にある企業を訪問し、学生交流・企業説明・企業見学を行う。	高度な英語力が必要である。また、人数制限がある。人文・文化学群生に限る。H28までのAA21621と同科目。詳細後日周知G科目
AA21703	ベトナム国際研修	3	3.0	2-4	夏季休業中	集中		佐々木 勲人	本学の協定校であるホーチミン市師範大学において、ベトナム語の基礎を集中的に学ぶとともに、体験学習を通してベトナムの社会や文化について理解を深める。	対象:全学群 受入先: ホーチミン市師範大学日本語学部 日本語及び英語で行う。AA21661, AA21701単位修得者は履修不可。9/4-9/25 詳細後日周知G科目
AA21803	海外プロジェクト研修(ロシア語圏)	3	2.0	1-3	春季休業中	集中		臼山 利信, 松下 聖	ロシア語圏という広大な時空間を体感し、現地の社会情勢や対日関係に関する生きた最新情報に触れることで、各自の専門分野の視点からロシア語圏についての考察を深めるとともに、将来のビジョン形成につながる経験を積むこと。	詳細については、掲示板を確認すること。事前研修(複数回実施)に参加できること。履修登録は事務で行う。G科目

(3) 学群インターンシップ

人文・文化学群インターンシップ

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AA29113	国内インターンシップ	3	2.0	2-4	通年	応談		臼山 利信, 菱川 邦俊	日本国内の企業、研究所、非営利団体、教育機関等で実際の業務に一定期間従事し、卒業後のキャリア設計を考える機会とすると同時に、就労に必要な実務能力の伸長を目指す。中でも次の3点を、本取組みの主な目的とする。 1. 実務の現場を経験し、卒業後のキャリア設計を考える。 2. 実践を通じて、ビジネスマナー、仕事の進め方などの実務能力を身につけ、向上させる。 3. 大学での学修と社会との接点を見出し、今後の学修・研究への意欲を高める。	詳細後日周知G科目
AA29213	海外インターンシップ	3	2.0	2-4	通年	応談		臼山 利信, 松下 聖	在外の企業、研究所、非営利団体、教育機関等で実際の業務に一定期間従事し、海外での仕事に必要な語学力、および国際交渉力などの伸長を目指す。中でも次の3点を、本取組みの主な目的とする。 1. 実践を通じた実用的な外国語運用能力の伸長 2. 異文化社会の中で遅くは渡り合う国際交渉力の実践 3. 海外での就労を視野に入れたキャリア設計、将来ビジョンの形成	詳細後日周知G科目